

市民の皆様へ

国勢調査実施の際には、ご協力いただき、ありがとうございました。

# 国勢調査で見るみのかも

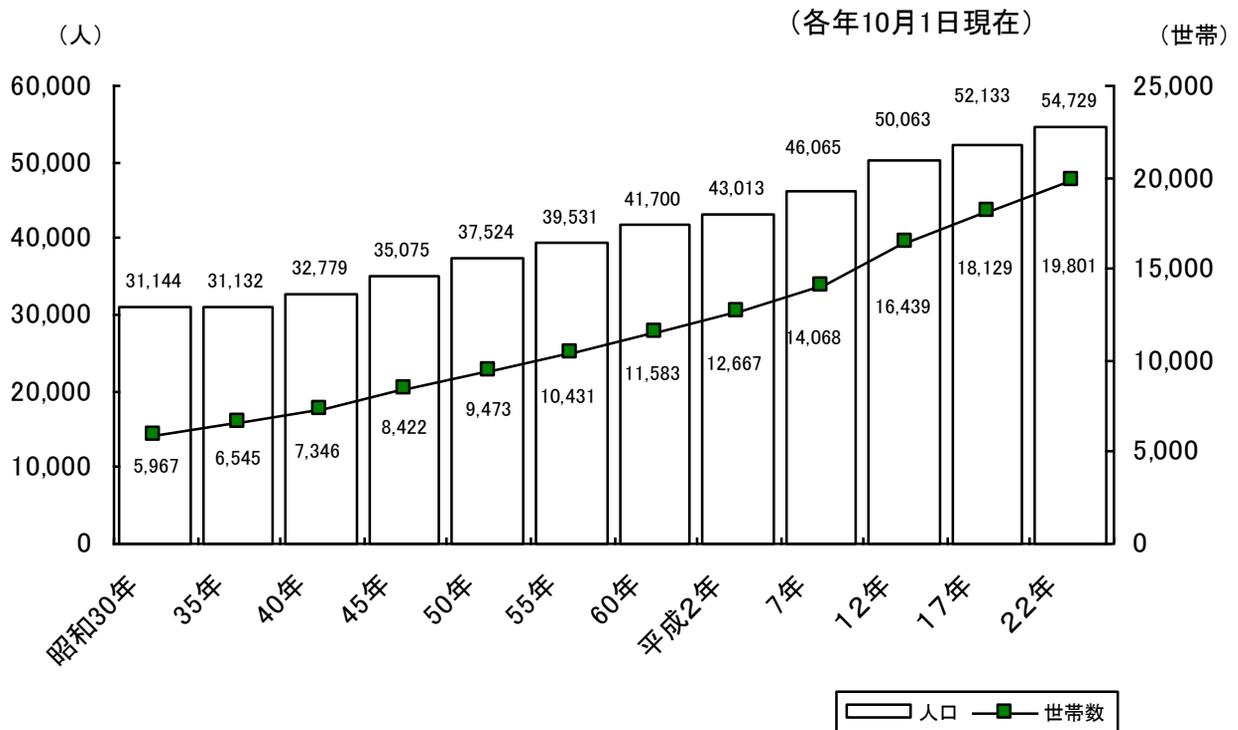
(平成22年10月1日実施)



## 平成22年国勢調査結果

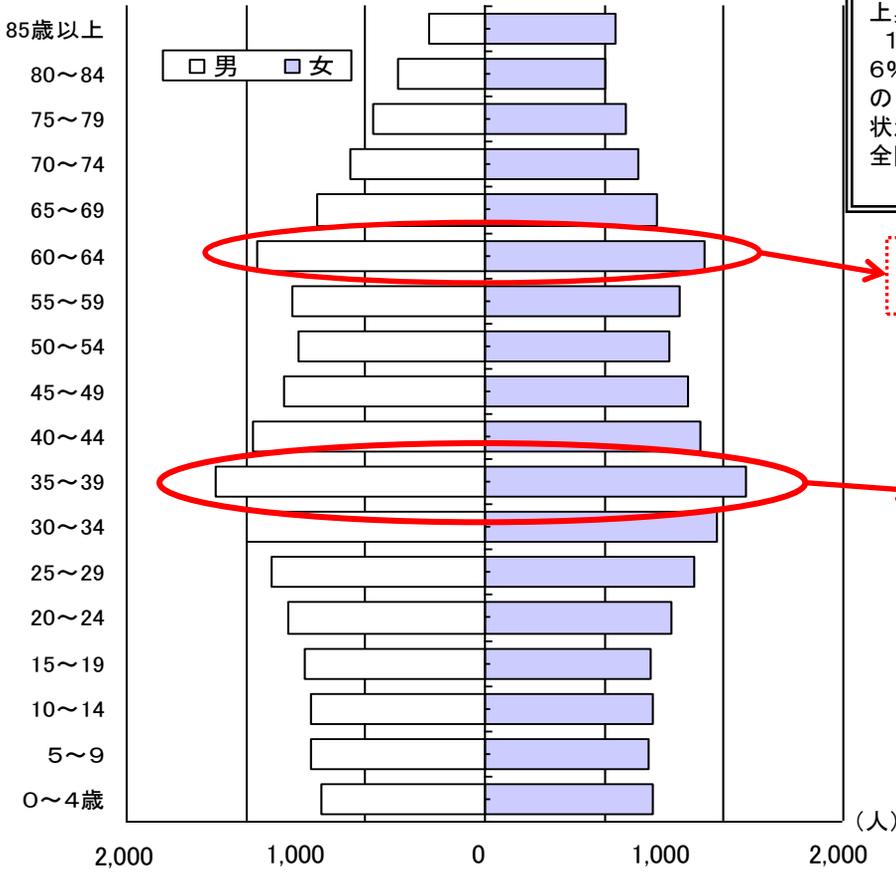
地区	人口(人)
太田	11,680
古井	16,691
山之上	2,326
蜂屋	7,207
加茂野	9,305
伊深	1,148
三和	613
下米田	5,759
総計	54,729

## 人口と世帯数の推移



全国の市町村のうち、4分の3で人口が減少する中、美濃加茂市の人口は増加傾向にあります。  
地区別では、一番増加しているのは蜂屋地区、次いで加茂野地区となっています。

## 男女別5歳階級別人口



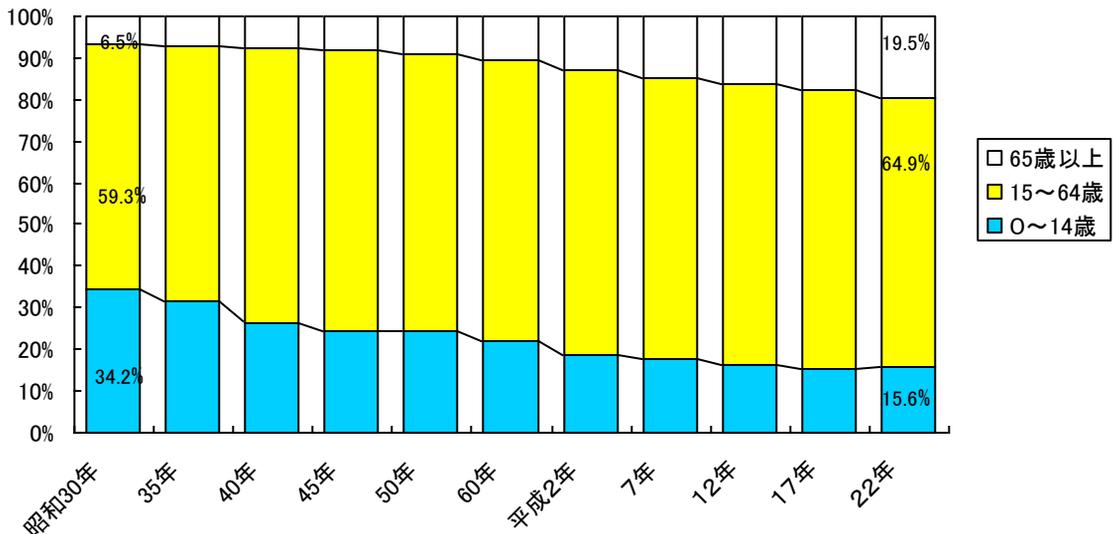
平成22年の65歳以上の人口比率は19.5%となっており、平成17年時の17.8%、12年時の16.3%と比べて、確実に上昇しています。  
15歳未満の人口比率は15.6%となっており、平成17年時の15.5%からほぼ横ばいの状況です。  
全国 65歳以上 23.0%  
15歳未満 13.2%

第1次ベビーブーム  
(団塊の世代)

第2次ベビーブーム



## 年齢3区分別人口割合の推移



# 人口構成割合

年齢区分	構成割合(%)	県内順位
0歳～4歳	5.1	5
5歳～9歳	5.2	9
10歳～14歳	5.3	10
15歳～19歳	5.3	8
20歳～24歳	5.9	3
25歳～29歳	6.5	5
30歳～34歳	7.3	4
35歳～39歳	8.2	8
40歳～44歳	6.9	8
45歳～49歳	6.2	12
50歳～54歳	5.7	35
55歳～59歳	6.0	39
60歳～64歳	6.9	41
65歳～69歳	5.2	42
70歳～74歳	4.4	39
75歳～79歳	3.9	39
80歳～84歳	3.2	39
85歳～89歳	1.8	39
90歳～94歳	0.8	30
95歳～99歳	0.2	28
100歳以上	0.0	19

注1: 年齢不詳を除いて算出しました。  
注2: 順位は数値の大きい順です。

0歳～44歳までを、県内42市町村と比較してみると、構成割合が高い傾向があります。  
対して、55歳～89歳までの構成割合は低い傾向にあります。  
美濃加茂市全体でみると、35歳～39歳の人口の構成比が一番多く、ついで30歳～34歳となっています。

## 住宅の所有の関係別世帯数等

住宅の所有の関係	世帯数	世帯人員	1世帯当たり	割合	県内順位
	(世帯)	(人)	人員(人)	(%)	-
住宅に住む一般世帯	19,302	53,276	2.76	-	-
<b>持ち家</b>	<b>12,673</b>	<b>40,446</b>	<b>3.19</b>	<b>65.66</b>	<b>38</b>
公営・都市機構・公社の借家	347	883	2.54	1.80	31
民営の借家	5,339	10,469	1.96	27.66	6
給与住宅	611	928	1.52	3.17	5
間借り	332	550	1.66	1.72	2

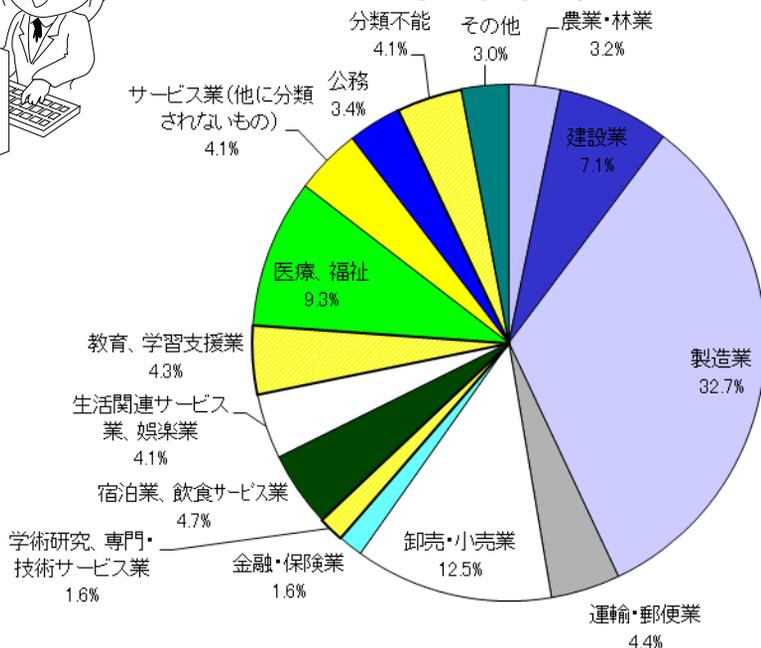
注:住宅に住む一般世帯とは一般世帯のうち住宅以外(病院・学校・施設・会社など)に居住している世帯を除いたものです。

住宅の所有については、美濃加茂市では、持ち家の割合が最も高く、6割を超えています。  
 ただし、県内他市町村と比較すると持ち家の割合は低く、借家等に住む人が多い傾向にあります。  
 県内市町村では、35市町村の持ち家の割合が7割を超えており、1位は加茂郡東白川村の94%です。

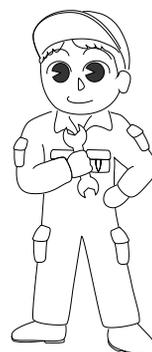
## 産業(大分類)、男女別15歳以上就業者割合



### 就業者数



平成17年と比べ、第1次産業、3次産業に従事する人の割合が減少し、第2次産業に従事する人の割合が増加しています。



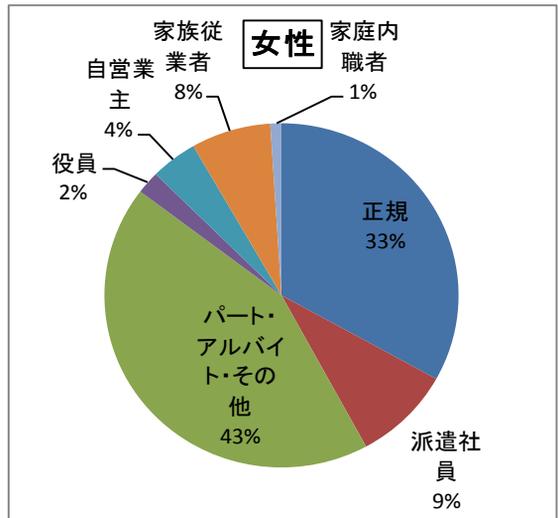
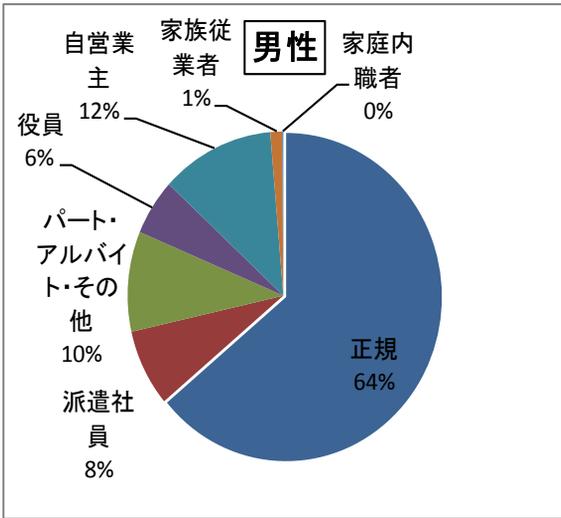
	実数(人)	割合(%)	平17割合(%)
第1次産業	889	3.4	4.2
第2次産業	10,961	41.5	35.4
第3次産業	14,545	55.1	60.3

(農業、林業、漁業)

(鉱業、建設業、製造業)

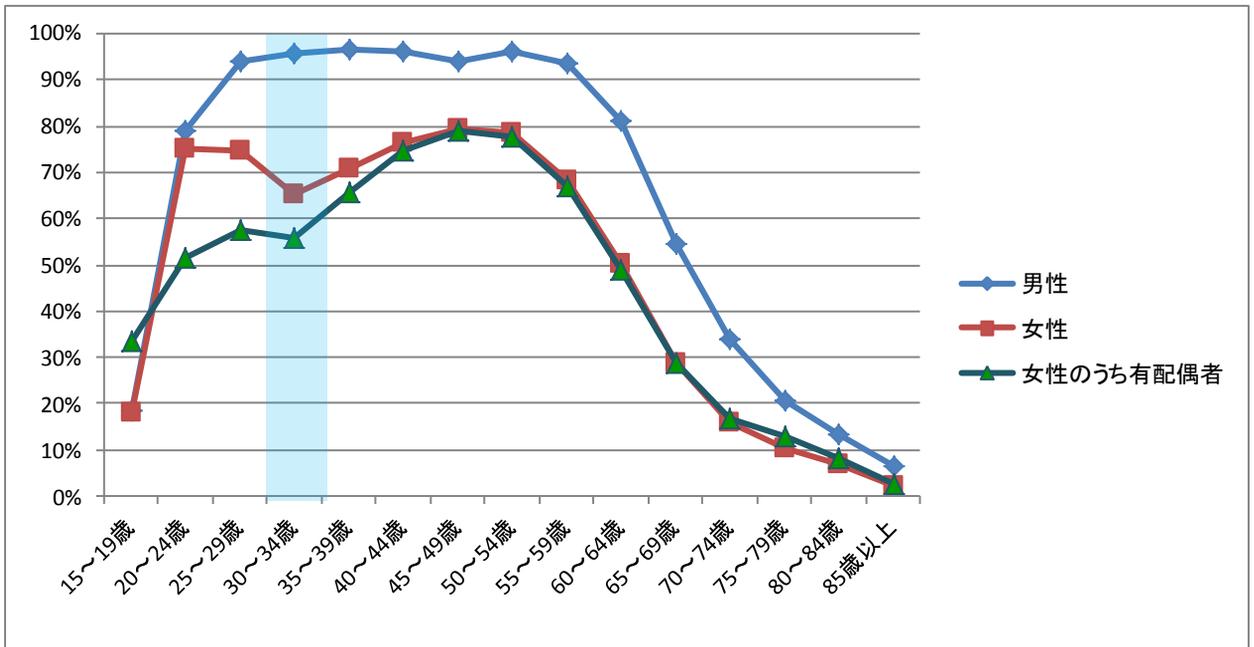
(電気・ガス・水道業、卸小売業、サービス業など)

# 就業の形態別割合



就業形態を男女別に見ると、男性は正規職員が多いのに対し、女性はパート・アルバイトが多いことがわかります。

# 年齢(5歳階級)、男女別労働力率



男女別に見てみると、男性が25歳~59歳までの各年齢階級で90%以上と高くなっている一方、女性は労働力率のM字カーブの谷が30~34歳にあります。これは、結婚・出産・育児によりいったん仕事を辞めた女性が、子育てが落ち着いた後に再び就労することを示しています。

# 産業別、男女別にみた雇用形態(15歳以上従業者)

男性

女性

100% 80% 60% 40% 20% 0%

0% 20% 40% 60% 80% 100%

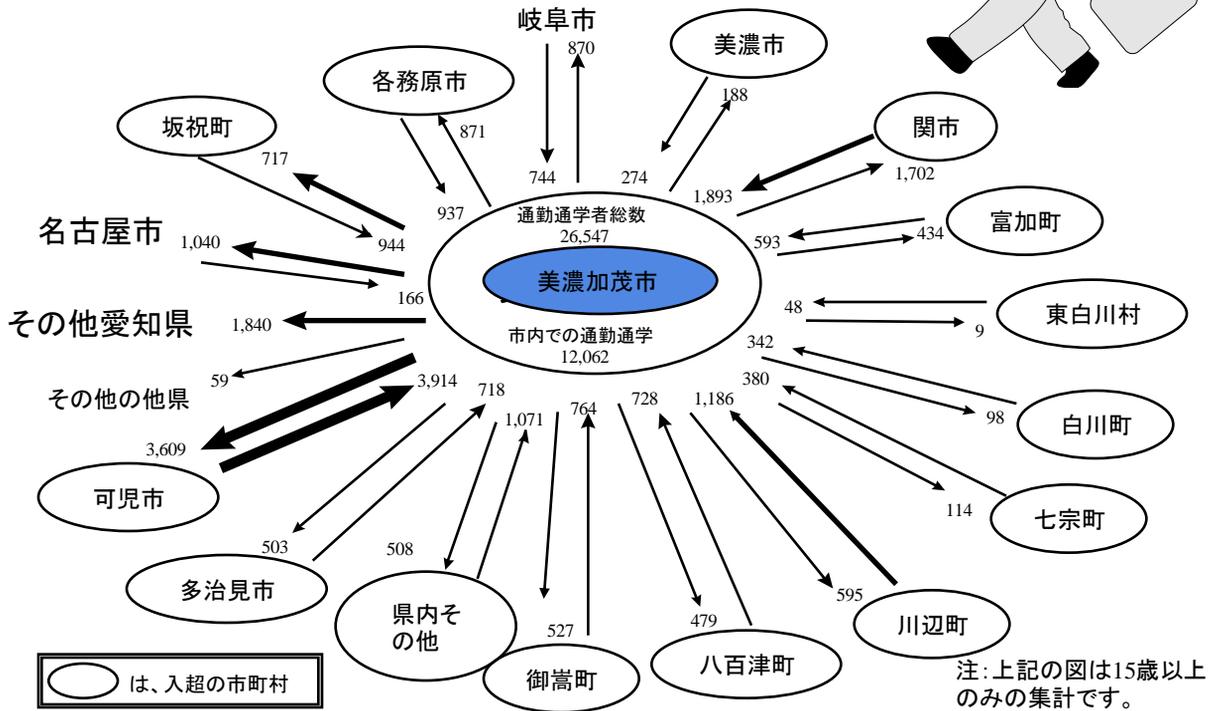


- 正規
- 役員
- 自営業主
- 家族従業者
- 派遣社員
- パート・アルバイト・その他
- 家庭内職者

産業別、男女別に雇用形態をみると、男女ともに「製造業」で派遣職員が多く、「金融、保険業」に正規職員が多いことがわかります。  
また、女性はパート・アルバイト、派遣職員など非正規で働く人の割合が多く見られます。

# 通勤・通学に伴う人口移動

(数値の単位は、人)



美濃加茂市は他市町村からの通勤・通学者が多く、昼間人口は56,467人であり、昼夜間人口比率は103.2となります。上記の図をみると、可児市との出入りが一番多いことがわかります。

全国的にみると、昼夜間比率が最も高いのは、東京都千代田区で1738.8、次いで大阪市中央区が591.9、東京都中央区が493.6となっています。

全国1位の東京都千代田区には、大変多くの人々が通勤・通学で流入していることがわかります。

## 【昼間人口の算出方法】

昼間人口 = 夜間人口 - 流出人口 + 流入人口

## 【夜間人口】

調査時に当市に常住していた人口

# 通勤・通学手段(9分類)

(単位:人)

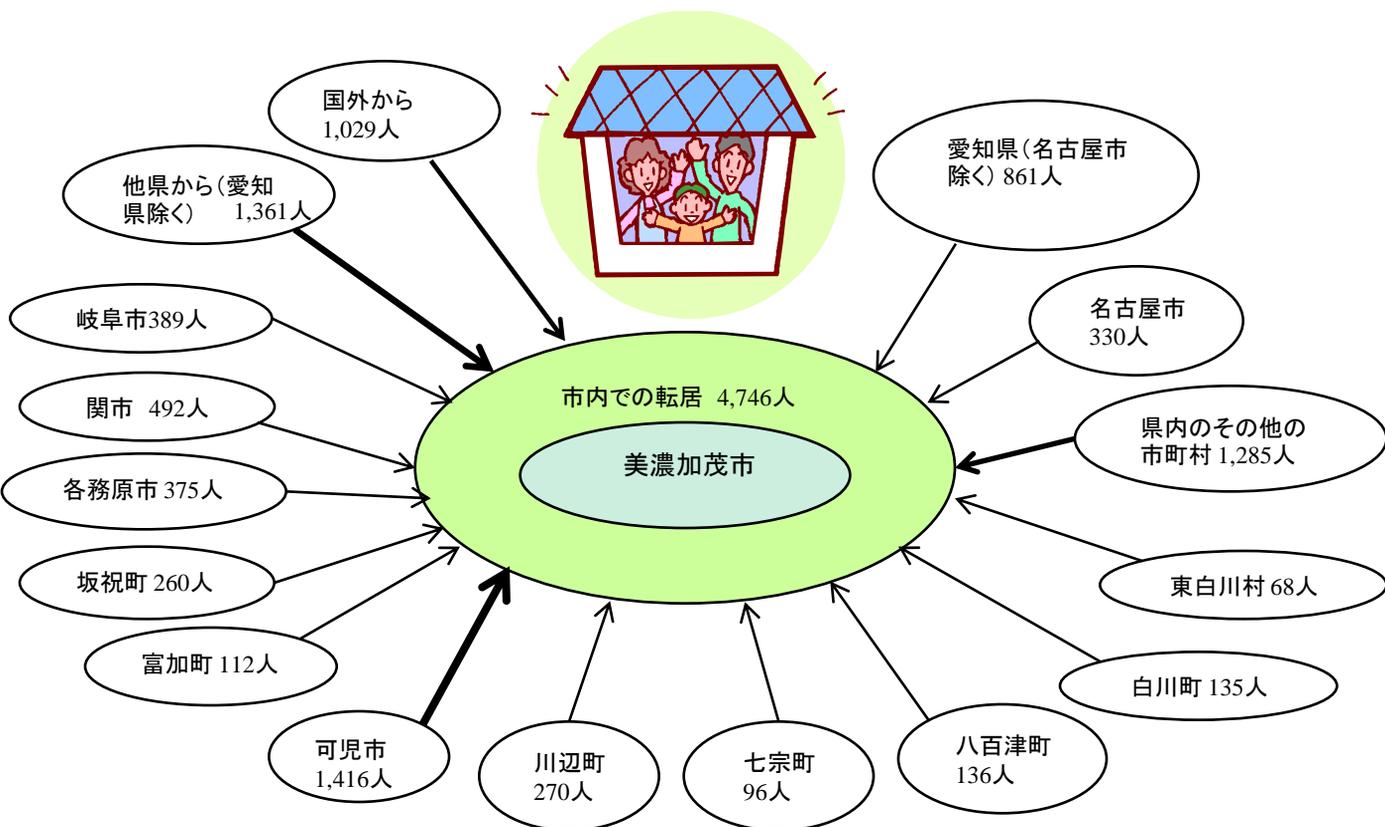
利用交通手段	全体	市外
徒歩だけ	1,668	39
鉄道・電車	1,980	1,911
乗合バス	219	197
勤め先・学校のバス	810	469
自家用車	19,555	11,722
ハイヤー・タクシー	10	7
オートバイ	321	179
自転車	2,963	952
その他	289	188
不詳	259	86
総計	26,547	14,408



通勤・通学手段として最も多いのは自家用車、次いで自転車となっています。(複数回答であるため、利用交通手段の計が総数と一致していません)

# 5年前の常住地

美濃加茂市では、前回の国勢調査(平成17年)より、人口が増加しています。  
5年前の常住地からみると、県内の他市町村からの移動が多く見られます。  
また、国外からの転入者も千人を超えています。



# 主な転出先

(単位:人)

転出先	人数
市外への転出者の合計	5,704
県内他市町村へ	3,230
主な転出先	
可児市	897
関市	345
岐阜市	312
各務原市	264
川辺町	196
坂祝町	190
御嵩町	128
八百津町	112
多治見市	111
富加町	104
他県へ	2,474
主な転出先	
愛知県(名古屋市除く)	955
うち名古屋市	325
静岡県	122
三重県	96
神奈川県	92
大阪府	74

5年前に美濃加茂市に住んでいた方の主な転出先を見てみると、転入同様、可児市に多くの方が転居していることがわかります。  
(\*主な転出先には、人数の多い市町村を順に掲載しました。)

## 県内21市の国勢調査人口

(単位:人、%)

	平成22年	平成17年	伸び率
県	2,080,773	2,107,226	△ 1.26
市計	1,756,245	1,776,534	△ 1.14
郡計	324,528	330,692	△ 1.86
岐阜市	413,136	413,367	△ 0.06
大垣市	161,160	162,070	△ 0.56
高山市	92,747	96,231	△ 3.62
多治見市	112,595	114,876	△ 1.99
関市	91,418	92,597	△ 1.27
中津川市	80,910	84,080	△ 3.77
美濃市	22,629	23,390	△ 3.25
瑞浪市	40,387	42,065	△ 3.99
羽島市	67,197	66,730	0.70
恵那市	53,718	55,761	△ 3.66
美濃加茂市	54,729	52,133	4.98
土岐市	60,475	62,102	△ 2.62
各務原市	145,604	144,174	0.99
可児市	97,436	97,686	△ 0.26
山県市	29,629	30,316	△ 2.27
瑞穂市	51,950	50,009	3.88
飛騨市	26,732	28,902	△ 7.51
本巣市	35,047	34,603	1.28
郡上市	44,491	47,495	△ 6.32
下呂市	36,314	38,494	△ 5.66
海津市	37,941	39,453	△ 3.83

注: H17年人口は、平成22年10月1日現在の現在の市町村の境域に基づいて組み替えた人口です。

平成年17年から平成22年までの美濃加茂市の人口の伸び率は4.98%となっています。  
 平成22年国勢調査では、全国11,728市町村のうち、4分の3(1,321市町村)で人口が減少しました。岐阜県においても、30市町村で人口が減少し、増加は12市町でした。  
 美濃加茂市については、人口が増加しており、人口増加数で県内市町村で1位。人口増加率では輪之内町(6.47%)に次いで2位となっています。